

表-11 蛸集魚の種類と蛸集状況(1.5 m角型魚礁)

種名	体長(cm)	蛸集数	蛸集場所
ヤライイシモチ	10	+	I, D
キンセンイシモチ	5	+	D
タカサゴ	7~10	++	I, VN, N
イッセンタカサゴ	7~10	++	I, VN, N
ナミハタ	20	-	D
コショウダイの一種	40	-	N, I
ヨコシマクロダイ	7	-	I
ヨスジフエダイ	5~10	++	I, VN
ニセクロホシフエダイ	5~10	++	I, VN
サラサハゼ	7	-	VN
クロリボンスズメダイ	5~7	++	I, VN
カザリキュウセン	3~5	+	I
ソバメウオ	30	-	I
アカククリ	20	-	I
ハタタテダイ	4~20	-	VN
クロハギ	5~30	-	VN
シマキンチャクフグ	5~7	+	D
不明種	10	-	I

蛸集数 - :10> + :100> ++ :1000>

蛸集場所 D: 魚礁間の暗がり I: 魚礁の内側

VN: 魚礁から1 m以内 N: VNより遠くの魚礁周辺

種は二段積みの魚礁の上部まで分布しているが、底層の方に多く、群れをなすことなくゆっくりと移動していた。クロリボンスズメは、逆に底層に少なく中層以上で泳ぎまわらずに浮遊停止していた。

今年度は、1982年11月6日に前年度設置の1.5 m角型魚礁の隣接地に同型のを35個設置した。これについては正確な蛸集魚調査を実施していないが、設置後の状態を確認するために潜水観察した時には、隣接する前年度設置魚礁とはほぼ同様の魚類が蛸集していた。

5. 水質調査

1982年4月16日、7月14日、11月26日及び1983年1月24日の4回、保護水面内2地点(図-1)で水質調査を行なった。測定方法は前報(沖水試・1982)と同様である。

表-12に結果を示した。特に例年と変わった点はなく、栄養塩は全体的に低レベルであった。

(以下は本文の重複と思われるため省略)